

第6学年1組 道徳科学習指導案

海田東小発 ～思いやりから 未来を考えよう～
「最後のおくりもの」B-(7) 互いを思いやる心

指導者 田村 純子
保田 典子

ねらい 自分達が暮らす海田町をよりよくするために色々な立場で考え、自分達の生活が互いに支え合って成り立っていることに気付き、自分達も相手の立場になってさらによりよく生きようと行動していこうとする態度を養う。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

【意欲・態度】	・みんなが思いやりをもってよりよく暮らせるように、相手の立場になって考え、優しく親切に行動しようとしている。
【スキル】	・自分の言動を見つめ、「見えない親切」や「本当の親切」について考えを深めたり、自分にできることを考えたりしている。
【自己理解】	・自分の生活を振り返り、相手の立場になって考え、みんながよりよく生きていけるように、相手のためになる行動をしようとしていることに気付いている。

学習の過程

児童の意識の流れ	各教科・領域と道徳科との関連	時期
<p>友達や下級生の気持ちを考えながら、最高学年として頑張っていきたい。</p>	<p>学級活動「学年・学級開き」【学級活動における道徳教育の視点】 これからの学校生活で、最高学年として下級生にどのように接し、どのような姿を見せるかということを見つめ、役割分担や活動方法を確認する。友達と互いを思いやりよりよく過ごしていくことの大切さに気付き、相手の気持ちを考えて行動していこうとする心情を育てる。</p>	4月
<p>みんなが楽しめる遊びを考え、みんなに楽しい思い出を作りたい。</p>	<p>学級活動「春の遠足に向けて」【学級活動における道徳教育の視点】 上級生として1年生や他学年のことを考えた遊びを計画し、みんなが楽しい遠足になるよう考えて行動していこうとする心情を育てる。</p>	5月
<p>相手を意識したあいさつをして、みんなに気持ちよく過ごしてほしい。</p>	<p>あいさつ運動【体験活動における道徳教育の視点】 身近な人々とのあいさつの体験を通して、相手を意識し、真心がこもった気持ちのよい対応をしようとする態度を養う。</p>	5月
<p>今の自分ができる親切な行動で、みんなに気持ちよく過ごしてほしい。</p>	<p>道徳科「車いすでの経験から」 B(7) 親切, 思いやり 誰に対しても思いやりの心を持ち、いま自分のできる精いっぱいのことをしようとする心情を育てる。</p>	6月
<p>自分が気付いていない「見えない親切」を考え、自分も友達のことを考えた「見えない親切」をしていきたい。</p>	<p>道徳科「最後のおくりもの」 B(7) 親切, 思いやり 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。【本時】</p>	6月
<p>自分が育てられている海田町には色々な立場の人が支え合って住んでいる。みんながよりよく生活できるようなことを考え、行動しよう。</p>	<p>道徳科「心に通じた『どうぞ』のひとこと」 B(7) 親切, 思いやり 相手の気持ちを自分のこととして考え、進んで相手のためになる行動をしようとする態度を養う。</p>	9月
<p>総合「海田東小発未来をえがく」【総合における道徳教育の視点】 自分達が暮らす海田町をよりよくするために、自分達の生活が互いに支え合って成り立っていることに気付き、色々な立場で情報を収集し、海田町の未来を担う自分達が、様々な立場の人々の気持ちを思いやりながら、よりよく生きていけるよう行動しようとする態度を養う。</p>		6月
<p>海田町の人々がよりよく生きていけるように、色々な立場に立って考え、自分たちができることを考えて行動しよう。</p>		